

(1) 昭和60年代以降の財政運営について

今も続く財政状況の厳しさの要因については、調査分析報告書において他府県との比較などを行い、大阪府の財政構造がもつ特徴を明らかにしました。ここでは、財政運営のあり方という観点から、昭和60年代以降の財政運営についてあらためて検証を行います。

① 主な一般財源の推移

- バブル経済崩壊後の税込急減により、平成4年度から一般財源が急減。5年度に地方交付税の交付団体に転落。
- その後、蓄積していた基金の取崩しや地方債充当率の引上げ等でしのいだ。
- その後も税金は伸び悩みを続け、13年度からは減債基金からの借入れを行うに至った。

